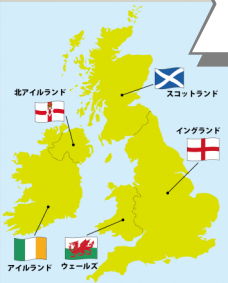


ケルト文化とハロウィーン

ハローフレンド通信別冊 Hello from Fukuroi Vol.55

ハロウィーンとは



「ハロウィーン/Halloween」は、日本でもずいぶん認知度が高くなりましたね。9月に入り、ハロウィーングッズを店頭で見かけることも増えました。ハロウィーンは、「ケルト文化」発祥です。「ケルト文化」とは、アイルランドやスコットランドなどに住んだケルトの人々の伝統文化です。

ケルトの1年は11月1日から始まり、10月31日に終わりを迎えます。ケルトの人々にとって、10月31日のハロウィーンの日、収穫を終え、長く厳しい冬が始まり、「生」と「死」の境目がなくなる日。冥界の扉が開き、祖先の霊とともに悪霊が来て悪さを働きます。

ハロウィーンの日、夜の夜に仮装をするのは、悪霊と同じ格好をしてその中に紛れ、悪霊から手出しをされないようにしているのです。



写真提供：
アイルランド
政府観光庁

ハロウィーンとバーンブラック

アイルランドのハロウィーンの夜は、仮装した子どもたちが家々を訪ねてお菓子をもらいます。そのあとはパーティーをして、「コルカノン（マッシュポテトとキャベツやケールを合わせた料理）」などを食べ、最後に「バーンブラック」を食べます。



Colcannon



写真提供：
アイルランド政府観光庁

「バーンブラック」とは、レーズンの入ったパンです。「バーンブラック」には、中にプレゼントを隠して焼くのが伝統です。どのプレゼントが当たるかで次の一年を占います。プレゼントには、指輪、硬貨、布切れなどをアルミホイルで包んで入れます。特に指輪は結婚を意味し、幸運の象徴として「バーンブラック」に入れて焼くことが多いです。

「バーンブラック」は、スライスして、バターを塗っていただきます。



Barmbrack